

刊夕日十二月九



定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元
電話 六二〇〇
印刷所 常磐宮日新聞印刷株式会社

可憐・犠牲の死

（愛谷堰の少年溺死を辯ず）

緒形 濱 治

夏としいへば暑もの凌ぎ難き節とは覺悟はしつるもの、今年は又格別で古稀の老爺も覺えなき熾烈と黒金も燦かすといふか、私は此世ながらの焦熱地獄であると言ひたい、海や川は言はずもがな堀といはず川といはず水のある處水浴の群らざる處はありませぬ。

此處は夏井の清流福島縣石城郡好間村愛谷には名高き最新式の自動堰、昨春數歳の年月と幾十萬の國幣とを投じて漸く竣成したもので堰上は河巾三十間、水深五尺、河底はコンクリートのたゞき、流れは極緩慢でプール以上の自然のプールであります、されば四方より集る河童連は日々幾百を算へ青年團員等の水泳競技なども催せらるゝ賑はしきであります。

時は七月十四日縣會補欠の投票日、農家は三番除草の眞最中男といふ男は留守がちの日でありました。力少年と一少年は同じ六年生の仲よしで其日の日課も朝の中にたつて、八時前から幼き弟妹や仲間を誘ふて彼のプールへ行つて

河童も逃げ出す水技を振つて居つたが忽ち寒さを感じてか此一群はつき出しのコンクリートの上によぢ上つて甲羅干しを始めたのであります。

此の時、關守爺はあわただしく下り来て倒れし鐵扉に手をかけ「サアノ」の掛聲と共に満身の力を入れて引き起さうとしたが、なかく起さうもありません、

「お爺さん重そうだな少しも起さないよ」水の壓す力は強いもんだ、ほんとに重い困つたな、已いらでも役に立つんだら手傳うか、一町四ヶ村の百姓のためだ、では手傳つてくんろな、よし手傳つて起してやつべしと力君と一君はザンブとばかり水門をくぐり鐵扉の下に立つたのであります。『では力君は右の端を一君は左の端を、己れは眞ん中をウソと起すからな』ぢや各持

衣類の中
に金銀を
つけたら
ものは樟腦を入れると變色する

稻が枯れでもしたら大變だ我家處かとすぐ取つて返へして鐵扉を起さうとしたんだが己れ一人ぢやどうにも動かない、それを手貸してくれて有難い、これが起きて水がどん／＼いつたら一町四ヶ村何萬の百姓さんがどんなに喜ぶことだつべ、今一息だ、がんばつてくんな

【朝】すまし汁—かぶ 乾えび
【書】つくし揚—黒だひ じゃが芋 ロード揚 掛汁
【晚】ふくめ煮—はしはま ぐり ます

「お爺さん一町四ヶ村つて何處々を云ふの？」一町四ヶ村つて云ふのは平町飯野村、高久村、豊間村、夏井村のことだ、あのこんと建つた大石碑に書いてあつたつてあれがさうだ、今朝己れは四時起きして自轉車で二里もある夏井村の役場にいつてイの一番に投票して久しぶりで近くの我家に寄りゆつくり休んで夕涼かけて歸つて來べしと思つて出かけたんだが江筋の水があんまり少くつて山崎のお寺の下邊からは小さな堀位しか流れない、これでは高久や豊間邊は一滴もないだらう、あのふさ／＼した

九月廿一日庚寅四線先負閉
【白】我が望事進んで吉利を得る然し病氣怪俄に注意未申と丑寅凶【二黒】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ吉日なり只家内に口舌を起さぬ様東西凶【三碧】金錢問題で目上と意見衝突を引起さぬ様戌亥と辰巳が凶【四綠】暫らく逢はぬ者が來て心配するか或は古き事件でゴタ／＼するの凶日なれば萬事注意【五黃】縁談金談に奔走して凶を醸す事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【六白】物事進み過ぎて凶を引起す事あれば謙遜以て吉【七赤】氣怪俄紛失に注意して現狀維持が吉未申と丑寅凶【八白】勞して功のなき日なれば水火の難に注意して猛進する勿れ南北凶【九紫】營業取引に利を得る日只公事と水火の難に注意して南北凶

稻が枯れでもしたら大變だ我家處かとすぐ取つて返へして鐵扉を起さうとしたんだが己れ一人ぢやどうにも動かない、それを手貸してくれて有難い、これが起きて水がどん／＼いつたら一町四ヶ村何萬の百姓さんがどんなに喜ぶことだつべ、今一息だ、がんばつてくんな

御愛乗下さい
シボレーに！
そは先驅者なり

稻が枯れでもしたら大變だ我家處かとすぐ取つて返へして鐵扉を起さうとしたんだが己れ一人ぢやどうにも動かない、それを手貸してくれて有難い、これが起きて水がどん／＼いつたら一町四ヶ村何萬の百姓さんがどんなに喜ぶことだつべ、今一息だ、がんばつてくんな

家相
人事
百般
鑑定
町野
島野
前易
所象

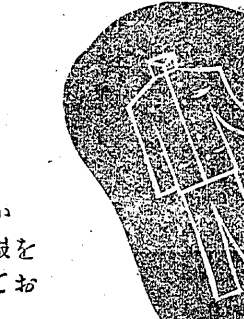
九月廿一日庚寅四線先負閉
【白】我が望事進んで吉利を得る然し病氣怪俄に注意未申と丑寅凶【二黒】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ吉日なり只家内に口舌を起さぬ様東西凶【三碧】金錢問題で目上と意見衝突を引起さぬ様戌亥と辰巳が凶【四綠】暫らく逢はぬ者が來て心配するか或は古き事件でゴタ／＼するの凶日なれば萬事注意【五黃】縁談金談に奔走して凶を醸す事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【六白】物事進み過ぎて凶を引起す事あれば謙遜以て吉【七赤】氣怪俄紛失に注意して現狀維持が吉未申と丑寅凶【八白】勞して功のなき日なれば水火の難に注意して猛進する勿れ南北凶【九紫】營業取引に利を得る日只公事と水火の難に注意して南北凶

九月廿一日庚寅四線先負閉
【白】我が望事進んで吉利を得る然し病氣怪俄に注意未申と丑寅凶【二黒】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ吉日なり只家内に口舌を起さぬ様東西凶【三碧】金錢問題で目上と意見衝突を引起さぬ様戌亥と辰巳が凶【四綠】暫らく逢はぬ者が來て心配するか或は古き事件でゴタ／＼するの凶日なれば萬事注意【五黃】縁談金談に奔走して凶を醸す事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【六白】物事進み過ぎて凶を引起す事あれば謙遜以て吉【七赤】氣怪俄紛失に注意して現狀維持が吉未申と丑寅凶【八白】勞して功のなき日なれば水火の難に注意して猛進する勿れ南北凶【九紫】營業取引に利を得る日只公事と水火の難に注意して南北凶

九月廿一日庚寅四線先負閉
【白】我が望事進んで吉利を得る然し病氣怪俄に注意未申と丑寅凶【二黒】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ吉日なり只家内に口舌を起さぬ様東西凶【三碧】金錢問題で目上と意見衝突を引起さぬ様戌亥と辰巳が凶【四綠】暫らく逢はぬ者が來て心配するか或は古き事件でゴタ／＼するの凶日なれば萬事注意【五黃】縁談金談に奔走して凶を醸す事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【六白】物事進み過ぎて凶を引起す事あれば謙遜以て吉【七赤】氣怪俄紛失に注意して現狀維持が吉未申と丑寅凶【八白】勞して功のなき日なれば水火の難に注意して猛進する勿れ南北凶【九紫】營業取引に利を得る日只公事と水火の難に注意して南北凶

九月廿一日庚寅四線先負閉
【白】我が望事進んで吉利を得る然し病氣怪俄に注意未申と丑寅凶【二黒】金は手に入り貴ひ物はあると云ふ吉日なり只家内に口舌を起さぬ様東西凶【三碧】金錢問題で目上と意見衝突を引起さぬ様戌亥と辰巳が凶【四綠】暫らく逢はぬ者が來て心配するか或は古き事件でゴタ／＼するの凶日なれば萬事注意【五黃】縁談金談に奔走して凶を醸す事あれば現狀維持が吉未申と丑寅が凶【六白】物事進み過ぎて凶を引起す事あれば謙遜以て吉【七赤】氣怪俄紛失に注意して現狀維持が吉未申と丑寅凶【八白】勞して功のなき日なれば水火の難に注意して猛進する勿れ南北凶【九紫】營業取引に利を得る日只公事と水火の難に注意して南北凶

小學生用(長ズボン付)
A 90
B 1.10
特製 2.50
中學生用
特製 6號 3.50
御注文 6.80均一
ふかや洋服店 平 三 203



黒小倉通學服賣出
冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御満足の頂ける黒小倉服を
澤山取揃へ特價にてお務めして
おります

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一〇七

全外 小兒科 一般科
醫學博士 渡部 義夫
女 醫 渡部 きい子
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需
渡部 外科

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお勵め致します
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
平田町六九
◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

毛糸
今年度新色全部揃へました。
何卒御来店下さい
合名 會社 ハシモトヤ糸店
平田町 電話十四番

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平町紺屋町
電話五〇七番

玉炭 平驛前
石炭
阿部石炭商店
電話三七番

玉炭 平驛前
石炭
阿部石炭商店
電話三七番

水道の盗用

五十戸以上に及ぶ

防止には計量制度を實現

平町水道部では近來共用銚の鍵を盗用する者が相當多
いので秘密裡に係員をして
戸別に調査中であるが既に
発見せる盗用戶數二十六戸
に及び全部では五十戸を起
すものと見られて居るが右
は鍵の紛失届を出して新品
の下附を受け他人に譲つた

何れも昨年出場の

古強者揃ひ

郡下選手期待さる

去る十七日の詮衡大會で縣
下青年團體大會の出場選
手を決定した石城聯合青年
團では來る二十四日内郷村
高坂グラウンドに於て最後の
練習を行つて三十日平發午
前九時依り西山副團長引卒
の下に壯途に着くが昨年明
治神宮大會に出場し二着を

大規模なバザー

磐女校最初の試み

出陳點數八千點に及ぶ

磐女校のバザーは既報の如
く來る十月八・九の兩日催
されるので各生徒いづれも
その製作準備に多忙を極め
てゐるが當日の出陳點數は
約八千點、金高千八百圓

愈よ間近に迫つたので明日
より課外指導を開始するが
指導員は市原訓導外十四名
である

平倉庫の販米

石城
販賣利用の平農業者共同
販米は明廿一日同所内で行
はれるが入札米は五等三十
二俵、等外七十七俵及び神
谷村農會の三十俵合計百三
十九俵であると

四倉町の 經濟更生

方針を協議

石城郡四倉では本年度より
農林省の經濟更生指定町に
編入されたので明廿一日午
前十時より役場内に更生委
員會を開き同町經濟更生の
方針樹立に就いて協議を行
ふと

天氣續きで

野菜に油虫

郡内に相當被害

石城郡各農村の野菜畑は本
月に入り去る十五日に少量
の降雨を見ただけである爲
め水不足の結果蔬菜類發育
不良に陥り中には枯死する
物すら有る矢先き油虫の發
生が盛んになり神谷、草野
平窪等各村に相當被害を見
て居るので神谷農事試験分
場では流酸ニコチン、ネオ
トン其他の藥品による驅除
法を奨勵して居る

融資の状況を調査

大藏省事務官が來郡

大藏省預金部の富樫事務官
は郡下に於ける同預金部の
融資状況調査の爲め來月三
日より左記日割で調査を開
始すると

十五の營林署長が

平に參集して協議

農林省の營林局では來る廿
八日午前九時より平營林署
に於いて福島茨城兩縣下十
五營林署長會議を開き事務
の取扱法並に山林物産の賣
拂ひ等に就いて協議を行ふ
事となり本局より石原利用
課長關技術師其他の諸氏が出
席する

夏井川と

共に道路を
赤井が陳情

石城郡赤井村では目下工事
中の夏井川改修事業と共に
道路改修事業も併せて行ひ
自動車道路の完成を計るべ
く昨十九日同村議田久彌七
松崎松太、菊地徳三郎、本
田忠重の諸氏が出縣陳情し
た

平町人事

回出生

- △舊城跡二一 牧野好真氏
- △舊城跡三 大峯勝治氏長
- △仲間町 六九 佐藤卯十郎
- △氏二男 政守

巖谷先生!

川崎小鳥

先生の述懐 (3)

そこで此等の人々とは、
今日に成つて却つて又度々
會ふ事がある。そして昔ば
なしの出る度に僕もあのま
ゝ此人々と同じく醫科大學
に入り得て居たなら今頃は
何様な事に成つて居たらう
とは、屢々思ひ浮ぶ事なの
である。
無論僕の如き鈍物は、彼
の人々の驥尾に附して、幸
ひに大學を卒業し得ても
所詮博士などには成つて居
られない。好く行つた所が
東京の市内に私立病院でも

持つて、ゴム輪の二人曳に
乗れる位が關の山。さもな
ければ地方を廻はつて縣立
病院の副院長、學士會では
古參だけに、醫會の幹事位
には選ばれるか知らんが、
其實若い助手連には、先生
號を以て敬遠せられ、陰で
は古く成つた頭腦を嗤はれ
て居る位のものだ。
更に出來損つたらば、小
さな町の警察醫、片手間に
保險會社の囑託も心得て廻
診には自轉車で飛びまはり
萬事を直にする所から、第
三流の病家にも、僅に重
寶がられる位の所だらう。

見習看護婦募集

(平町某醫院)
姓名在社

尤もそれ丈では自分の保
險金もろくに拂へないので
苦しまぎれの内職で、藝が
身を助ける不仕合少し許り
筆の立つのを方に、田中さ
んの筆に絶つて、醫海時報

かまぼこ製造

お土産 平町一丁目 吉原揚 不保實

電話一四一番

産婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

シートの下に

若い男女二十餘名

トラックが荷物と見せかけ

赤井嶽參詣に

昨廿日午後七時頃平町北目地内の縣道を疾走する

一台のトラックが積載せる荷物らしき上にシートを掛けて居たが運轉手臺の屋根の上に三名の男が乗つて居たので危険を感じ巡邏中の平署員が停車を命じて運轉手茨城縣多賀郡磯原町字八木澤篠原五郎(三)を取調中シートがむくむくと

動き出したので不審を抱き内部を調べた處中は若い男女廿餘名が目白押しに乗り込んで居たので自動車取締規則違反として取調中である右は關

赤井嶽參詣の男女に頼まれ同トラックに乗せたが其筋の眼を睨す爲めにシートを掛けて荷物を表して居たものであると

好天氣に恵れた

関伽井祭禮の難踏

昨日好天氣に恵れた関伽井嶽祭禮の祭例は朝まだきより押掛る善男善女で引きも切らず殊に夕刻に及んで地元郡下より參詣者さびすを接し臨時列車も乗合自動車も超満員の有様に是れが取締に當る平署では附近駐在所員迄動員して全山の警戒に努めた結果好間村上好間字町田居住佐々木岩雄(三)を泥酔暴行で検束した外七名の検束者を擧げた

子師範學校に於て創立滿六十週年を記念し催される縣下小學校兒童成績展覽會の出品兒童を左の如く決定した

兒童成績品 平第二 展覽會出陳 小學校 では来る十月十七日日本縣男

- △書方 (二年)酒井正子
- 木村イミ 廣邊義子(三年)
- 年)大和田キヨ子 千葉玲子 大嶺悦子(四年)木田秀子 櫻村多美子 馬目靜(五年)關内義子 梶原フミ 根本ツネ子(六年)
- 年)廣邊昌子 大和田智恵子 江尻ミヤ子 栗田ケイ子(高)小野文子
- (高)佐藤光子
- △圖書 (一年)安藤重子

畑の中から

白骨が現る

五十年以上のもの 一先づ共同墓地へ

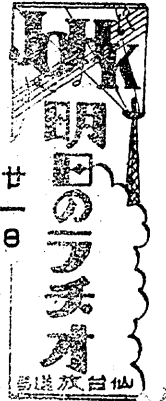
石城郡大野村字戸田地内河川改修工事場の畑地より昨十九日午前九時頃人間の白骨を人夫が掘起したので届出により其筋で取調べたが推定五十年以上のものらしく一先づ共同墓地に移して埋葬した

元収入役

破産宣告

債権者協議

石城郡平窪村大字中平窪元同村収入役松崎由雄氏は過般上小川村草野正壽氏より破産を申請され去る四月五日平支部に於いて中島判事



今晩は北東の風 晴曇半し明日は南東の風雲

今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「科學の力」高岡齊
- 後六、二五 趣味講演「眞藹と馬琴」江見水蔭
- 後七、三〇 講演の夕(海外史上の人物を各時代別に語る) 沼田頼輔・中村孝也、尾佐竹猛
- 後九、〇〇 映畫物語「埋藏金三万兩」駒井司郎

明日の部

- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前六、三〇 基礎英語講座(五) 橋本忠夫
- 前七、三〇 佛教講座「妙法蓮華經如來壽量品偈」(二) 清水谷泰順
- 前九、一〇 料理献立「王菜の錦和へ」小林忠雄發表

平第二校の

秋季運動會

校では來月六日午前七時より秋季運動會を催す事に決定したが競技種目は左の如くである

- 個人競走 團體競走
- ダンス遊戯 合同体操
- レーバスケツトボール
- 來賓競走 ラヂオ体操

忍び込んで

グツスリ寝込む

手當り次第ビールと酒を

たら腹飲んだ揚句

石城郡内郷村字泉居住坑夫佐川來藏次男榮次(三)は去る十八日午後八時頃同村字竹之内飲食店酒井岩吉方家人の不在中に忍込み宗正三本とビール二本を飲酒し泥酔の揚句店内で熟睡中を家

前一〇、三〇 家庭「時代は益々女の力を求む」成女高等女學校校長 宮田脩

後〇、〇五 彼岸會法要(第二日) 池上本門寺より中繼 日蓮宗大本山門寺貫首大僧正 酒井日慎

後一、一〇 野球試合實況「東京大學野球聯盟リーグ戦」明治神宮外苑球場より中繼

後二、〇〇 家庭大學講座「ジャワの國情」三好俊吉郎

後六、〇〇(子供の時間) 管絃樂 日本放送交響樂團 指揮 山本直忠

後六、二五 英語講座(四) 岡田實磨

後七、三〇 講演「雲子の活躍」東北帝大教授理學博士 三枝彦雄

後八、〇〇 義太夫「菅原傳授手習鑑」(寺小屋の段) 淨るり竹本早苗太夫 三味線野澤榮造

後八、二五 小唄「秋風さそふ」春日とよ 春日とよ松外

後八、四〇 歌舞技レビュ「誘拐事件」坪内士行 詞須藤五郎作曲 寶塚少女歌劇雪組生徒 住よし子、沙見洋子外大勢

荒井判事係りの下に豫審中の處本日取調べ一段落を告げ釋放されたが後四五日豫審終決をするであらうと

平職案紹介所報告

回人を求める方

△商店員 十八才 尋卒 仕着外三圓(内郷村某)

△仕出し見習 十五迄 尋卒 給料面談(平町某)

△菓子製造見習 二十以下 尋卒 給料面談(平町某)

△出前持 十六才 尋卒 仕着外月三圓(平町某)

回職を求める方

△事務員 三十四才 高卒 給料面談(茨城縣某)

△出前持 二十九才 尋四 修 給料面談(内郷村某)

△採炭夫 三十三才 尋卒 給料面談(山形縣某)

△測量 四十八才 攻玉工業卒 給料面談(平町某)

△測量 四十八才 攻玉工業卒 給料面談(平町某)

△測量 四十八才 攻玉工業卒 給料面談(平町某)



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第四十五回 血に飢ゆる村正

奸臣を只一と撃

武助は中段に一刀を構へ互に氣合を許つて勝負いたすの心底、唐之亮殿は飽まで主水に力を添へる思召し殿「主水負るな、充分に武助めを貰ひて了へ」

とお言葉承まはつた本多齋宮

齊「武助、殿の御前と心得て遠慮をいたすな、隙があれば飛掛つて八重垣主水を真二ツに致せ」

武「委細承知いたして居ります」
承知をされて堪るものではない、真劍勝負をする場合に常の如く口の利けるのは是れ業の勝れからでございます主水の方は勝たう勝たうと思ふ所で堅くなつて居りますから却て變化をいたすに不都合でございます何藝でも其事をしながら他の人に話でもしたり挨拶でも出来るやうになれば、一人前勝れて居ると申しても宜しうございます車力が九段坂をのぼりながら傍を通る女を見て「どうだ美しい女だな、俺の女房になる氣はないか」などと串戯口を利くやうになれば車力も一人前でございます、**急**

な坂へでも掛ると、ウーム

と迂鳴りながら、齒を食ひしばつたり目をすへて上るやうな内は、まだ真正の車力とは申されませんが、車力と劍術使へと一所にしては相すみませんが、今本多齋宮のいふ事を真槍の前



で斯くて果つべきと思ひ込んで八重垣主水、叫ぶ聲の一喝して突き出す槍は電光石火の激するばかりアハヤ武助は田楽刺しと思ひしや、籠釣瓶の銘刀にて槍先ツと拂つたり、取直したる八重垣主水が再び繰出す槍先をヒラリと武助は体をひねて突つ掛ける槍の半ばを都築武助ヤツと云ふ聲諸共に切つて落した其の早業、主水は南無三一大事と引かんとする間もあらはこそ、飛び掛つたる拜み打ち、左の肩先より大腿の骨へ掛つてたつた一打、水も留らぬ籠釣瓶此の有様を

で斯くて果つべきと思ひ込んで八重垣主水、叫ぶ聲の一喝して突き出す槍は電光石火の激するばかりアハヤ武助は田楽刺しと思ひしや、籠釣瓶の銘刀にて槍先ツと拂つたり、取直したる八重垣主水が再び繰出す槍先をヒラリと武助は体をひねて突つ掛ける槍の半ばを都築武助ヤツと云ふ聲諸共に切つて落した其の早業、主水は南無三一大事と引かんとする間もあらはこそ、飛び掛つたる拜み打ち、左の肩先より大腿の骨へ掛つてたつた一打、水も留らぬ籠釣瓶此の有様を

で斯くて果つべきと思ひ込んで八重垣主水、叫ぶ聲の一喝して突き出す槍は電光石火の激するばかりアハヤ武助は田楽刺しと思ひしや、籠釣瓶の銘刀にて槍先ツと拂つたり、取直したる八重垣主水が再び繰出す槍先をヒラリと武助は体をひねて突つ掛ける槍の半ばを都築武助ヤツと云ふ聲諸共に切つて落した其の早業、主水は南無三一大事と引かんとする間もあらはこそ、飛び掛つたる拜み打ち、左の肩先より大腿の骨へ掛つてたつた一打、水も留らぬ籠釣瓶此の有様を

で斯くて果つべきと思ひ込んで八重垣主水、叫ぶ聲の一喝して突き出す槍は電光石火の激するばかりアハヤ武助は田楽刺しと思ひしや、籠釣瓶の銘刀にて槍先ツと拂つたり、取直したる八重垣主水が再び繰出す槍先をヒラリと武助は体をひねて突つ掛ける槍の半ばを都築武助ヤツと云ふ聲諸共に切つて落した其の早業、主水は南無三一大事と引かんとする間もあらはこそ、飛び掛つたる拜み打ち、左の肩先より大腿の骨へ掛つてたつた一打、水も留らぬ籠釣瓶此の有様を

見るよりも御前に列ぶ一同は思はずドット聲を上げて武助の腕前勝れしを感ぜぬ者はない中に色を變へたる唐之助突立上つて武助を睨み殿「不屈きもの何意越あつ

くちや行かん」
長「何ですつて、閉門におなんなんつたは何ういふ譯でございます」
武「ナア御前八重垣主水と真劍勝負をして一刀の下に切つてしまつた、スルト大守の御怒りによつて閉門よ」
長「夫はとんだ事をなすつた」

武「して終つた跡で何んといつても仕方がない、閉門中退屈だから酒を買つて来て貰ひたい」
長「閉門といひやア謹むのでございます、其の謹み中に那且が酒等を飲んで居たら悪かアございませぬかへ、第一閉門屋敷から酒などを買ひに行く事は出来ません」
武「殿様が閉門を申し付ると仰しやつた故謹しんでは居るが別に酒の事は仰しやらぬ故飲んでも大事ない」

木村外科科
院醫科外村木
平町五丁目
電話三九〇

磐城セメント會社特約店
久全屋敷商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

正木織物店ノ生命也
絹織物ノ正木織物店へ
開業三十五週年を祝するため
二割引にて大々的勉強御註文に應ず
御註文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマヌ
平町字新町貳貳番(公園下)
白生地 貨織販賣 正木織物店

吸入用酸素純度99%
度量衡器
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
寒暖計
体温器

吉田眼科病院
平町屋敷、電話六八番